

令和元年度
第3回
那須塩原市・那須町採択地区協議会
議事録

<議事録作成者>

那須塩原市・那須町採択地区協議会 事務局

那須塩原市教育委員会 主査・指導主事 寺崎 裕史

那須町教育委員会 指導主事 安宅 伸太朗

令和元年度 第3回那須塩原市・那須町採択地区協議会議事録

令和元年8月8日、午前9時より令和元年度第3回那須塩原市・那須町採択地区協議会が三島公民館講座室において開催され、その結果は次のとおりであります。

I 会 議

1 本会議に出席した委員

那須塩原市教育委員会	教育長	大宮司 敏 夫
那須町教育委員会	教育長	平久井 好 一
那須塩原市教育委員会	教育委員	大 澤 真 弓
那須町教育委員会	教育委員	菊 地 厚 子
那須塩原市教育委員会	学校教育課長	小 泉 秀 夫
那須町教育委員会	学校教育課長	阿久津 正 樹
那須町P T A連絡協議会 (那須町立那須高原小学校P T A会長)		大 森 尚
那須塩原市校長会長 (那須塩原市立大山小学校長)		白 石 仁 一
那須町校長会長 (那須町立黒田原小学校長)		増 淵 尚

2 本会議の事務局員

那須塩原市教育委員会学校教育課	学校指導係長	相 樂 尚 志
那須町教育委員会学校教育課	学校教育係長	足 助 佳代子
那須塩原市教育委員会学校教育課	副主幹・指導主事	鏑 木 崇
那須塩原市教育委員会学校教育課	副主幹・指導主事	菊 地 はす江
那須塩原市教育委員会学校教育課	副主幹・指導主事	稲 垣 俊 弘
那須塩原市教育委員会学校教育課	主査・指導主事	寺 崎 裕 史
那須町教育委員会学校教育課	指導主事	安 宅 伸太朗
那須町教育委員会学校教育課	指導主事	増 子 智 和
那須塩原市教育委員会学校教育課	主査	角 田 孝 典

3 本会議の内容

(1) 開会

(2) あいさつ

那須塩原市・那須町採択地区協議会長 大宮司 敏夫

(3) 諸連絡・協議及び選定方法等の確認

- ・那須塩原市・那須町採択地区協議会規約の確認(資料1)
- ・教科用図書選定対象図書一覧表の確認(資料2)
- ・調査報告・選定方法の確認(資料3)

(4) 協議および選定

(5) その他

(6) 閉会

II 議事録

1 開 会

事務局：令和元年度第3回那須塩原市・那須町教科用図書採択地区協議会を開催する。本協議会規約第12条第1項による定足数を満たしているので、会議が成立することを報告する。

2 あいさつ

那須塩原市・那須町採択地区協議会長 大宮司 敏夫

会長：連日熱中症の話題が聞かれるが、暦の上では立秋。台風も気になる時期でもある。第3回の開催にあたり、お忙しい中御参加いただきありがとうございます。第2回採択地区協議会后、それぞれの教育委員会で諮っていたが、7月16日開催の那須塩原市教育委員会において、また7月26日開催の那須町教育委員会において、慎重に審議していただいた中で、改めて協議をしていただければとなった。これは、当初予定していなかったが第3回目の採択地区協議会となった。両市町教育委員会において、熱心な協議が行われた結果と思っている。両市町子ども達にとってよりよい教科書の選定をしていきたいという思いの表れであると思っている。その視点をもとに、議論をし、出し尽くした上で選定をしていきたい。今回は、小学校義務教育学校前期課程の国語・書写・生活・図画工作・保健・外国語・社会の7種目について協議選定を行いたい。その後最終的な採択については、那須塩原市が8月26日、那須町については8月27日に教育委員会にて行うことが予定されている。熱心な協議をお願いしたい。

3 諸連絡・選定方法等の確認

(1) 那須塩原市・那須町採択地区協議会規約の確認

資料1の説明

事務局：協議・選定方法等について、第2回の採択地区協議会同様となりますが確認させていただきます。要項の1～4ページにあります資料1を御覧ください。「採択地区協議会規約」を再度掲載させていただきました。本日の協議会も、この規約に基づいて行われております。また、本日、教科用図書を選定していただきますが、教科用図書の選定につきましては、第13条の規定に従って決めます。

事務局：では続きまして、一覧表の確認をさせていただきます。5ページ、資料2を御覧ください。そちらに令和2年度使用小学校及び義務教育学校前期課程教科用図書の選定対象図書一覧表がございます。確認ですが、国語・書写・社会・生活・図画工作・保健・外国語の7種目になります。なお、別冊にて調査研究資料がございます。これらは、県の調査研究資料と、各小・中・義務教育学校から寄せられた希望調査表をもとに、調査員が作成した資料です。また、報告用資料と学校希望調査を取りまとめた資料があります。これらの資料も併せて御参照ください。

事務局：何か御質問等はありませんでしょうか。では、「調査報告・選定方法の確認」を、お願いします。

事務局：6ページに資料の訂正がございます。社会が抜けておりました。社会の協議日程を12時より開始し、12時25分まで社会の協議選定をお願いします。調査員からの報告は済んでおりますので7種目ごとに、【協議→選定】の順で、選定をお願いいたします。ただし、国語と書写については併せて協議を行いますが、それぞれに選定を行います。選定の順番はご覧の通りとなります。何か御質問等はありませんでしょうか。早速「4協議及び選定」に入らせていただきます。ここからの進行は、会長の大宮司敏夫教育長様、副会長の平久井好一教育長様をお願いいたします。

会長：前半進行をさせていただきます。それでは、ここから協議に入ります。傍聴についての確認をいたします。『選定に関する議決の部分』については協議会規約並びに運営要領により、傍聴ができませんので、御退出をお願いすることになります。御了承ください。入退室につきましては、事務局員の指示に従ってお願いいたします。また、傍聴される際の注意事項に留意いただき、静粛をお願いいたします。なお、傍聴者控室において、調査員の調査研究資料を閲覧することができますので、これらの資料をお読みいただき、お待ちいただければと思います。委員の皆様につきましては、再度の協議となりますので、協議のたびにお手元に教科書を準備していただきますようよろしくお願い申し上げます。

【小学校・義務教育学校前期課程 国語 書写】

〔協議〕

会長：まず、国語と書写についての協議を開始します。お手元に教科書の準備をお願いします。

会長：意見をお願いします。

小泉委員：前回までも見てきたが、さらに深く見ることができた。全ての会社の教科書がよくできている。それぞれの工夫があり、調査委員が示してくれたことにも納得できる。調査委員が絞ってきたことはやはり、甲乙付けがたい素晴らしい教科書であることが分かった。あとは、実態に合ったという点が視点になるのかということになると感じた。

菊地委員：くまなく教科書にふれる時間をいただいたのは良かった。第一第二希望の教科書はよくできている。主体的な学習を目指していることがよく分かった。教科書には特色がある。第一希望は未来に向けてどのような力をつけるのかに重点を置いていた。表現力や思いを伝える点にもポイントを置いていた。図書の紹介も充実していた。言葉の力を単元に入る前につかみやすい工夫。第二希望は、馴染みがあり、文学的に優れている。心情を読み取る点にも優れていた。悩みどころだが、子ども達の実態に合わせてという点に絞って決めていくことがよいと感じている。

白石委員：時間をかけて教科書を選ぶことが大切であると改めて感じた。論点がすっきりしてきた。学校で教科主任の様子を聞くと、子どもの実態を考えていることが分かった。ベストマッチはないが、最大公約数を探っていく必要がある

と感じた。

大澤委員：前回は読み込んで臨んだが、迷いのポイントは、子ども達目線か先生方目線かという点であった。両方は難しいので、まずは子ども目線で、見やすさや意欲があふれてくるなどの点から選んでいきたいと思った。遠回しにいろいろな方の意見を聞いた。どの出版社も素晴らしい。その中でよりよいものを選びたいと思っている。

会長：決して前回の協議会がいい加減であったということだけでなく、前回は慎重に審議したが、さらにもう一度読み込むということは、非常に僅差であるという言葉は当てはまらないかもしれないが、「ここはどうなんだ」ということをもう一度考え直す機会となったと思います。

副会長：改めて、教科書を見て感じたことは、調査員はよく調べているなということ。第一希望の教科書は、主体的な学びをしやすいような単元配列になっている。第二希望は読み物資料が素晴らしく、句読点のつけ方一つとっても素晴らしい。できればいいところ取りで2つ採用したいくらいの気持ちである。

増淵委員：調査員の観点や関係資料を見直すことができたことは良かった。来年度以降実際に手にとって学習する子ども達を考えたとき、どの教科書にするかと悩むことが多い。今現場で行われている授業は、自分たちが一教員として授業をしていたときより、はるかに対話的な授業が行われている。教科書によるものかは別かもしれないが、じっくり学ぶ中で自分の考えを伝えられるようになることを願っている。

会長：教科書を教えるわけではなく、教科書を生かして力を身に付けさせるということだと思います。その他いかがでしょうか。

阿久津委員：どちらも新学習指導要領のめざす目標を達成するために作られているので、どちらがよりということ難しい。進めやすいのは本当に僅差であると思うがそういった視点で選ぶことが臨まれると思う。

大森委員：保護者代表として感謝している。低学年の保護者は一緒に読むことも多い。そういう視点も必要であると感じている。

会長：対話的で深い授業も大切である一方で、教科の特性もあるのではないかと考えている。また、低学年においては保護者も一緒に見る視点も大切である。この後選定でよろしいか。選定については、傍聴人退席願いたい。

〔選 定〕 委員による選定

【小学校・義務教育学校前期課程 生活】

〔協 議〕

会長：続いて、生活についての協議です。手元に教科書を準備ください。委員から御意見があればお願いします。

菊地委員：前回の調査員からの報告で、現行の教科書と調査員の希望の教科書に違いがあり、現行の教科書が選ばれていなかったという点について、再度協議の必要性を感じた。学校の先生方から希望のない教科書が第一希望となっていた。子どもの発達の段階を考えたときに、できるだけ情報量の少ないシンプルな

ものという視点は納得した。非常によく作られている。仕掛けもよく練られている。子ども目線でもサイズが小さい。目線が横に流れていく仕組みになっている。

副会長：今までと違う教科書を使う、さらに希望とも違うとき、これを話し合うだけの時間が本当にあったのかということに改めて感じている。じっくり見たらなるほどと思うところが多かった。第一希望としてあげてただけあると思った。

阿久津委員：どの教科書も写真とイラストがあるが、第一希望の教科書はシンプルでありながらも必要などころがありより分かりやすくなっているという視点で考えさせてもらった。

白石委員：生活は、特に新学習指導要領を敏感に受けて授業を組み立てる必要があることを感じた。調査員が選んだ教科書は過剰の説明がなくて、今までと違った視点が必要なんだということが印象に残っている。

増淵校長：調査員の調査を改めて読むと、生活は何をやるの？というときの子ども目線の配置、コミュニケーションの取り方や、安全面、災害も丁寧に扱っている。

大澤委員：四季の取扱いが出版社によってばらつきがあった。その点が目にとまり、生活科は1・2年生が四季を感じながら四季に合わせた行動が自然に学んでいけるような構成が魅力的であると思った。

小泉課長：どの教科書も写真やイラストでわくわくするものとなっている。昔は三世帯同居であったが、今はそれがないことが多い。そういった点でも、生活科は大切であると感じている。

会長：生活科の選定に移ります。傍聴人退席願います。

〔選 定〕委員による選定

【小学校・義務教育学校前期課程 図画工作】

〔協 議〕

副会長：小学校の図画工作となります。委員の意見をお願いします。

菊地委員：調査員が変更で希望してきた。2社とも芸術性に優れている。個性が豊かに表現されている。調査員が選んだ教科書は、同じ取扱いでも、子ども達の体験を重視しているものを選んできている。実際に授業する場面でどこでも可能かや、先生達の負担はどうなのかという点について考えていかなければならない。調査員は、「子ども達のためにがんばる」と話していた。それにしても、特に低学年では苦労が多いので、実際の現場と子どものためのどちらの視点で考えていくべきかについてという点が大切であると思った。

大澤委員：芸術に触れる教科である。いろいろな材料を扱う大変さはあるので、写真や絵、QRコードを活用した授業となっていく。普段ふれることのできないことを知るという視点で教科書を見させていただいた。

白石委員：感性に訴える部分での個性が出ているため、逆にいうと比べにくいという点がある。今後、作品展の持ち方も考えていかないといけないと感じた。

副会長：選定に移ります。傍聴人ご移動願います。

〔選定〕委員による選定

【小学校・義務教育学校前期課程 保健】

〔協議〕

副会長：教科書の準備をお願いします。小学校保健について、意見を願います。

増淵委員：現代の子ども達が生活スタイルを考えていく中で、小学生の時期にどんなことを学び、気づいていくことは大切なことであると感じた。貴重な学習の場になると思った。特に保健の授業はそんなにたくさんの時数があるわけではないので、それをきっかけにしていってもらえればと思った。

大澤委員：一日の生活を考えたとき、様々な家庭生活がある中で、こんなサイクルが体、心の健康につながるのかということへの知識が必要となると思った。健康・病気・性の悩みなど、その時々のできる教科書を選びたいと思った。

菊地委員：重要な教科であると感じている。学んだことを自分事で捉えていくことが大事である。その捉え方をしていけるかどうかということが選定のポイントであると思う。

白石委員：授業の中では時間が無い。長い人生の土台をつくる上で、睡眠一つ手洗い一つとっても大切となる。主体性がとても大切になる。

小泉委員：主体的に注目したときに、どちらかといえばということが見えてくると思いました。

副会長：選定作業に入ります。傍聴人ご移動願います。

〔選定〕委員による選定

【小学校・義務教育学校前期課程 外国語】

〔協議〕

副会長：小学校外国語の協議を行います。御意見があればお願いします。

菊地委員：小学校の初めての教科となり、大切な選定となると思う。最初の印象、日本を伝えていくことが教科の目的であることが伝わってくる教科書は良いと思ったが、調査員はそうではなく、小学校の段階では楽しく英語を学ぶということが視点となっていた。

小泉委員：これまでの外国語活動は楽しくやってきたので、中学校に入るまでに嫌いにならない、むしろ好きになって中学校に行くためにはという視点で選びたいと思っている。

大澤委員：英語を好き、楽しいと思えることが大切であると思います。外国人とふれあう機会も多くなってきた。そんな中、自分も話せるという喜びやわくわくのきっかけとなるような教科書を選びたい。

会長：これまで学習していたことの繋がりを考えることは大切であると思う。また、

これまでは正しさにこだわりすぎていたからこそ、実際の場面で使えないということがあった。そういうことではないというところを重視していくことが大切であると思った。

阿久津委員：いかに中学校英語に繋いでいくかが大切であると思った。

副会長：それでは、選定に移ります。傍聴の方ご移動願います。

〔選定〕委員による選定

【小学校・義務教育学校前期課程 社会】

〔協議〕

副会長：小学校社会科について、御意見願います。

菊地委員：前回の協議の中で私自身見落としがあったと反省した。くまなくふれることができなかった。地元の教材をどのように扱っているのか、またそれが、子ども達にとってどのような影響を与えるのか、どうなってほしいかなどについて再度協議したいと思った。

白石委員：調査員の報告では世界の中の日本を大切と話していた。その中でも地元の良さが必要であると思った。比べてみてはっきりしてきた点があった。

阿久津委員：前回の調査員の話で納得したことはあったのだが、教科書の中で自分たちに密接につながる教材を扱うかどうかは、身近に感じることができるという観点からも大切になってくると思う。

小泉委員：子ども達が社会科を学ぶことによって、自分たちの地域に誇りをもつという事は素晴らしいことであると思う。

大森委員：地元のもものが教科書にあると、親としてその場所に連れて行くこともできるというのは大きなポイントであると思う。

副会長：その他はよろしいでしょうか。それでは、傍聴者は退席願います。

〔選定〕委員による選定

この会議録は、事実と相違ないことを署名する。

議事録署名

那須塩原市教育委員会学校教育課長

小泉 香 久



那須町教育委員会学校教育課長

阿久津 正樹

